

令和6年度 シラバス

岐阜立岐阜商業高等学校 定時制

教科名	科目名	単位数	履修学科	履修年次	履修区分
芸術	書道 I	2 単位	ビジネス	3 年次	三・四修制

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の仕方や形式、多様性などについて幅広く理解し、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 ・書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 ・書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
授 業 形 態	理論学習の場合は各教室、毛筆学習(実技)の場合は書道教室で実施する。
科 目 内 容	<p>1. 書の美 書写と書道と関連、違いについて理解する。鑑賞の基礎、書の3分野を理解する。用具や用材で表現が変わることを理解する。</p> <p>2. 漢字仮名交じりの書 書の幅広い表現方法を理解する。自分で考えた語句を選び、作品を創作する。</p> <p>3. 漢字の書(楷書) 各古典による線質の違いを理解する。楷書の結構を理解する。臨書の3つの方法を理解し、実践する。</p> <p>4. 漢字の書(行書) 名筆を鑑賞して、仮名の基礎を理解する。仮名独特の基本用筆を身につける。</p> <p>5. 書写検定の学習 1 硬筆書写検定の概要を理解する。硬筆を使った基本的な楷書を身につける。筆順、漢字の部分の名称を覚える。</p> <p>6. 仮名の書 ひらがなの単体・連綿の基礎を学習する。仮名の古筆を臨書する。</p> <p>7. 篆刻の学習 自分の作品に用いる落款印を制作する。印箋を作って、みんなで鑑賞する。</p> <p>8. 生活の中の書 実用の書を探す。1年間の反省をする。</p>
評 価 の 観 点	<p>さまざまな書の美に関心を持っているか。意欲的に表現しようとしているか。・・・[主体・技能]</p> <p>基本的な用筆を理解しているか。目的、用途に即した創意工夫ができるか。・・・[判断・主体]</p> <p>それぞれの古典の特徴を捉えているか。効果的な表現をしようとしているか。・・・[思考・知識]</p> <p>作品を客観的に観察しているか。理解、見方を深めることができたか。・・・[技能・表現]</p>
評 価 方 法	<p>授業態度・提出物の状況]</p> <p>定期考査(年4回)</p> <p>制作作品</p>
備 考	※定期考査は実施しない場合もあります

令和6年度 シラバス

岐阜立岐阜商業高等学校 定時制

教科名	科目名	単位数	履修学科	履修年次	履修区分
芸術	書道 I	1 単位	ビジネス	4 年次	四修制

目 標	書を愛好する心を育て、自己を表現する力を養い、それとともに実用的な書写能力を育てる。 楷書・行書以外の篆書・隸書・草書にも挑戦し、より創造性のある表現ができるようにする。
授 業 形 態	理論学習の場合は各教室、毛筆学習(実技)の場合は書道教室で実施する。
科 目 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漢字仮名交じりの書 1 書の幅広い表現方法を理解する。書の日常性に目を向け、芸術性を理解し高める。 2. 漢字の書（楷書） 楷書の基本用筆を理解する。漢字の古典を臨書し、古典学習の基本を身に付ける。 3. 漢字の書（行書） 行書の基本用筆を理解する。筆脈・気脈といった流れを理解する。古典の鑑賞をし、特徴を理解する。 古典の特徴を理解し、臨書する。 4. 仮名の書 ひらがな単体の練習をする。連綿の練習をする。仮名の古筆を鑑賞し、その特徴を理解する。 5. 生活の中の書 実用の書を探す。1年間の反省をする。
評 価 の 観 点	さまざまな書の美に関心を持っているか。意欲的に表現しようとしているか。・・・[関心・意欲・態度] 基本的な用筆を理解しているか。目的、用途に即した創意工夫ができるか。・・・[知識・理解] それぞれの古典の特徴を捉えているか。効果的な表現をしようとしているか。・・・[思考・判断] 作品を客観的に観察しているか。理解、見方を深めることができたか。・・・[技能・表現]
評 価 方 法	授業態度・提出物の状況 定期考査(年2回) 制作作品
備 考	※定期考査は実施しない場合があります